



EU Risk Assessment — timing and outlook 欧州リスクアセスメントスケジュール

- 2007年3月 TC-NES (EUメンバー国技術会議) で環境についての討議
2007年6月 産業界が繊維、顔料・塗料・コーティング及びセラミックス (PPCC) 分野の川下ユーザーに由来する環境排出の新しいデータを報告
2007年8月中旬 ヒトの健康に関する新たな報告書案の発表予定
2007年9月 新たな土壌研究結果の公表 (2種類の植物と1種類の無脊椎動物)
2007年9月 TC-NESでヒトの健康についての最終討議予定
2007年12月 TC-NESで環境についての最終討議予定

Dates for Your Diary : 20 September 2007 and 29 October 2007

Invitation to kick-off meeting IAOIA REACH antimony consortia in Antwerp and China

IAOIAスケジュール：2007年9月20日 (アントワープ)、10月29日 (中国) で

IAOIA REACHアンチモンコンソーシアムのキックオフ会議開催

REACHは2007年6月に施行される。他の産業団体と同様に、IAOIAもREACHの準備を進めており、コンソーシアム形成の可能性を探っている。

IAOIAはリスクアセスメントにおいて三酸化アンチモンの環境とヒトの健康に関するデータしか収集していないため、それ以外のアンチモン化合物の登録に際して残されているデータギャップを特定すべく詳細な文献調査を行っている。三酸化アンチモンでの研究成果から他のアンチモン化合物にも利用できるデータを選択することにより、他のアンチモン化合物で実施すべき新たな研究の潜在的必要性が特定されることになる。

第一段階として、IAOIAはアンチモン化合物を登録する可能性のある企業[(金属アンチモンを含む) アンチモン化合物の製造業者あるいは輸入業者]に対しベルギーまたは中国で開催されるキックオフ会議に出席し、登録の意思表明を行うよう正式に招請する。

各化合物ごとの利害関係企業数は、当該化合物がIAOIA REACHコンソーシアムに含まれるかどうかによって特定される。アンチモンREACHコンソーシアムを2008年1月に正式に発足させるため、この決定は9月の会議の後に下される。新たに会員となる可能性が多ければ多いほど、REACHが求めている透明、公正かつ差別のない方法でのコスト配分が可能になる。

アジアでのキックオフ会議は10月29日、中国南部、海南省の三亚市で開催される。この会議で、アンチモン化合物の生産者、輸出業者、ユーザーがEU市場で生き残り、また、特定のアンチモン化合物の科学的データを生み出す産業界コンソーシアムの一員となるために必要な情報を提供することになる。

REACHの下で登録を予定しているアンチモン化合物の生産者、輸入業者、ユーザーは、将来の登録手続に備えて、コーディネーターであるIAOIA事務局長Karin Van de Veldeにご連絡下さい。連絡先は巻末をご参照下さい。

Emission Data Gathering from textile and PPCC Downstream Users 繊維とPPCCの川下ユーザー由来の排出データ収集

2007年3月の環境に関するTC NES会議で、産業界は繊維と顔料・塗料・コーティング・セラミックス（PPCC）分野の川下ユーザーに由来する排出データを追加収集する最後の機会が与えられた。2006年に収集されたデータにより、ほとんどの川下ユーザー分野のほとんどの環境区分でリスクがないとの結果が得られていたが、繊維分野では海水、土壌、底質に対するリスクが、PPCC分野では底質と土壌に対するリスクが残されていた。

これらの分野を対象に最初のアンケート調査が実施され、80%近くの企業から回答が得られた。アンチモンの環境データ測定を実施したと回答した企業（ほとんどの国でアンチモンの測定義務はないので、すべての企業ではない）を対象に2回目のより詳細なアンケート調査が実施された。産業界からの最終報告期限は6月末に設定されている。

夏に行われる新たな土壌研究がより現実的なPNEC（予測無影響濃度）の特定と、すべての分野にとってのリスク低減に役立つことになろう。

Germany reclassifies ATO to lower hazard to water ドイツはATOの水に対する有害性分類を引き下げた

ドイツ連邦環境庁（UBA）のKBwS（水に対する有害物質評価委員会）はIAOIAの要請に基づいて、ATOの水の有害性分類（WGK）をクラス2から1に変更した。WGK2は水に対する有害性がある（従って、より厳重な保管が要求される）ことを意味し、WGK1は水に対して有害性が低い（ATOの環境毒性分類はR40であるため、最低クラスの可能性が高い）ことを意味する。UBSの諮問機関であるKBwSはATOが水生環境に対して危険性はなく、従ってR50分類でのラベル化の必要はないとのEUの決定を追認したことになる。

Updated List of IAOIA Members: 最新のIAOIAメンバーリスト IAOIAメンバーの最新リストは、www.iaoia.org で閲覧可能

これらの企業は、アンチモン製品市場を守るために、政府機関への適切な対応及び信頼出来るデータの開発や提供などの活動に奮闘しています。活動費用や人的貢献はこれらの企業が分担しています。貴社は、これらの企業をビジネス相手として選択することによって、我々の業界を支援することになります。貴社がアンチモン製品の生産者、流通業者、消費者であり、こうした取り組みに貢献する意志があるならば、IAOIA、日本鉱業協会、中国五鉱化工進出口商会または会員企業にコンタクトして下さい。

New documentation available on antimony trioxide 三酸化アンチモンに関する最新資料公表

2007年3月、IAOIAは三酸化アンチモンに関する最新のファクトシートを発表した。IAOIAのウェブサイト（www.iaoia.org）の「ニュースレター」の欄で入手可能。ファクトシートにはEUリスクアセスメントの進捗状況を含め、用途、最新の法規制コンプライアンス、科学事項などの概要が掲載されている。

より詳細なパンフレットはIAOIA事務局長にお申し込み下さい。より専門家向けの長文なFAQも掲載されています。

Organisation of IAOIA IAOIA 組織

役職	氏名	e-mail アドレス	電話番号
議長	Dave Sanders	david.sanders@chemtura.com	+ 1 765/497 6319
副議長	Geert Krekel	geert.krekel@campine.be	+ 32 14 601 549
経理	Gilles Ozoux	gozoux@pcdlucette.com	+ 33 (0) 243012310
事務局長	Karine Van de Velde	Karine.vandevelde@campine.be	+ 32 14 601 578
日本鉱業協会アンチモン環境安全対策協議会議長	町田博治	machida@nihonseiko.co.jp	+ 81 3 3235 0031
中国五鉱進出口商会	Huang Chongbiao	huangcb@minmetals.com	+ 861068495302